

# 仙台子ども体験プラザ ブース紹介 ヤマト運輸

いまや社会インフラとなった宅配業界の中でも常にリーディングカンパニーとしての責務を果たしているヤマト運輸。スチューデントシティでは、他の会社から預かった荷物を各会社に運び、シティ内の会社間取引をつなぐ役割を担っています。また、ブースのカウンターでは個人のお客様（児童）から荷物を預かり、活動後、学校または児童が伝票に記入した住所にヤマト運輸のドライバーが実際にお届けしています。

## 【ブースで指導にあたるスタッフの方からのコメント】

子どもたちはサービス業に従事するために必要な接客訓練、自分たちで工夫した宣伝活動、宅急便の受付などを行うことで、一人一人がヤマト運輸の社員としての自覚を持ち、生き生きと活動しています。また、どうすれば一つでも多くの荷物を預かることができるか、社員全員で考え、行動することで、働くことの楽しさや大変さを実感しています。

私たちは、サービス業にとって最も必要な『明るい笑顔』『元気な挨拶』そして『チームワークの大切さ』を伝えることができるよう、常に意識して活動に臨んでいます。また、目標を達成するために考え、行動したプロセスや達成感が子どもたちにとって将来の道標となつてほしい、と願いながら取り組んでいます。

